

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」を読んで

医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック 歯科助手 神谷 依里

私は予防歯科について、出会ったのが、2016年の11月でした。それまでは歯科業界とは別の職種で働いていましたので全く知識もなく未経験からで「予防歯科とは何か？」からのスタートでした。

この本と出会い、予防歯科についての流れや虫歯の仕組み、正しい歯磨きの方法、定期的なメンテナンスの重要性など、わかりやすく記載され漠然としていた頭の中が少しずつ読み進めることで、はっきりとしてきてわかりやすく読んでいておもしろかったです。

今までの私の中での歯医者というと、虫歯や歯並びが気になる、何か症状があれば受診するという考え方でした。「症状がないのに、歯医者に行くのはちょっと通いにくいな」と思うところがありました。この本を通じて、私自身が働いているクリニック以外にも予防歯科に取り組みされている所があり、「予防の目的で通ってもいいんだな」という考え方になりました。まだ予防歯科についての認知度は私の周りでは低いので、発信ができたらなと思いました。

本を読んでいて驚いたことがありました。企業との連携で勤務中にスタッフがメンテナンスに受診が出来る取り組みをされていることでした。私の中ではとても衝撃的でした。歯科と企業が連携して予防に取り組みがあることを初めて知りました。その企業は飲食店でスタッフ以外にもお客様に歯科のグッズを宣伝し広められており驚きました。

今は不自由なく、なんでも食べられますが、歯や口腔内がトラブルになった時、食べる意欲がなくなり、憂鬱な気持ちが続くこともありました。もし将来、そのような気持ちで日々を過ごしていくことになればとても悲しいなと感じました。早いうちから予防することで、将来、年を重ねても自分の歯で食べたいものを不自由なく食べられることは、とても幸せだろうなと思いました。

今回、予防歯科について初めて知ることばかりでしたので、まだまだこれから勉強をして知識を深めていきたいです。